

女性の就労意識アンケート調査報告書

概要版

平成 28 年 3 月

恵庭市

目 次

1. 調査の実施概要	1
1.1 調査の実施概要	1
(1) 調査の実施概要	1
(2) 市民意識調査の対象	1
(3) 配布・回収について	1
1.2 アンケート調査票	1
2. 調査結果の分析	4
2.1 回答者の属性について	4
(1) Q1. 年齢	4
(2) Q2. 現在働いているか、及び働いている場合の勤務形態	4
(3) Q8. 同居する子どもについて	5
(4) Q9. 配偶者の就労状況について	7
2.2 今後の就労意向について	11
(1) Q3. 今後の就業意向	11
(2) Q4. 現在働いておらず、今後も働く予定のない理由	12
(3) Q5. 現在働いていない方が、今後働くための条件や理由	13
(4) Q6. 現在働いている方が、今後も働き続ける理由	15
(5) Q7. 現在働いている方が、今後仕事を辞める予定がある理由	17

1. 調査の実施概要

1.1 調査の実施概要

(1) 調査の実施概要

今後、働く世代の人口減少が見込まれる中、女性の就労意識について調査・分析し、いきいきと働きやすいまちづくりを目指すことを目的として実施する。

(2) 市民意識調査の対象

市内在住の18歳から65歳までの女性の中から、無作為に2,000人の方を選び実施した。なお、うち3名は所在不明で差し戻しがあったため、実質、1,997人が対象である。

(3) 配布・回収について

① 配布・回収の方法

郵送による配布・回収。

② 調査期間

平成28年1月26日（火）～3月9日（水）

③ 回収状況

平成28年3月9日（水）現在、970票（回収率48.6%）

1.2 アンケート調査票

配布したアンケートは次ページ以降に示すとおりである。

◆「女性の就労意識アンケート調査」調査票

※回答にあたっては、該当欄にご記入いただくか、該当項目の番号に○をつけてください。

Q1. あなたの年齢をご記入ください。(平成28年1月31日現在)(○は1つだけ)

- A1. 1. 18歳～24歳 2. 25歳～29歳 3. 30歳～34歳 4. 35歳～39歳
5. 40歳～44歳 6. 45歳～49歳 7. 50歳～54歳 8. 55歳～59歳 9. 60歳～65歳

Q2. あなたは現在、働いていますか。

また働いている場合は、その勤務形態についてお聞きします。(○は1つだけ)

- A2. 1. 働いていない
2. 正規雇用で働いている(自営業も含む)
3. パートやアルバイト等、非正規雇用でほぼ毎日働いている(一日当り_____時間勤務)
4. パートやアルバイト等、非正規雇用で週に数日、数時間働いている(一週当り_____時間勤務)

Q3. あなたの今後についてお聞きします。(○は1つだけ)

- A3. 1. 現在働いていないし、今後も働く予定はない → Q4へ
2. 現在働いていないが、条件等が合えば働きたい → Q5へ
3. 現在働いていて、今後も働き続ける → Q6へ
4. 現在働いているが、今後仕事をやめる予定である → Q7へ
5. その他(_____) → Q8・Q9へ

Q4. 現在も、今後も働く予定がない理由についてお聞きします。(○は3つまで)

- A4. 1. 健康、体力面で不安 2. 子育てに専念したい 3. 家族の介護や看護
4. 通勤のための交通手段がない 5. 配偶者(夫)が望まない 6. 親が望まない
7. 経済的に働く必要がない 8. 仕事が見つからない 9. 人間関係がわずらわしい
10. 保育施設など、子どもを預ける所がない 11. 配偶者(夫)の現在の賃金水準に満足
12. パートやアルバイトでは不満(正規職員の雇用が少ない)
13. 希望する賃金でない(希望賃金～時間当たり_____円)
14. 希望する業種がない(希望する業種_____)
15. その他(_____) → Q8・Q9へ

Q5. 現在働いていない方へ、今後、働くための条件や理由についてお聞きします。(○は3つまで)

- A5. 1. 健康、体力面が回復すること 2. 子育てが一段落すること(中学校入学など)
3. 家族の介護や看護など家族見守り支援等 4. 経済的理由で働く必要があること
5. 配偶者(夫)の理解が得られること 6. 親の理解が得られること
7. 勤務会社などでの子どもの預かりや、保育園などでの子どもの預かりができること
8. 通勤手当や勤務会社の送迎、その他交通手段の確保
9. 仕事のブランクや仕事のスキルをつける復職支援
10. パートやアルバイトより正規職員であることなど待遇、身分の改善
11. 休日や急な休みなど、必要ときに休める体制
12. 希望する賃金になること(希望賃金～時間当たり_____円)
13. 勤務時間や時間帯(希望勤務時間_____時間、時間帯_____から_____時まで)
14. 希望する業種が見つかること(業種_____)
15. その他(_____) → Q8・Q9へ

Q6. 現在働いていて、今後も働き続ける理由についてお聞きます。(〇は3つまで)

- A6.
- | | |
|---|----------------------------|
| 1. 健康、体力面に良いから | 2. 経済的理由で働く必要があるから |
| 3. 勤務会社の職場の雰囲気が良いから | 4. 勤務会社から正当な評価を得られているから |
| 5. 勤務会社による通勤費手当などがあるから | 6. 勤務会社による通勤時の車両送迎があるから |
| 7. 仕事が好き、やりがいがあるから | 8. 社会とのつながり、交流のため |
| 9. 必要ときに休める体制があるから | 10. 希望する賃金だから(時間当たり_____円) |
| 11. 保育施設や勤務会社などで、子どもの預かりなどがあるから | |
| 12. 仕事と家事、育児が両立しやすいから(業種_____) | |
| 13. 希望する職種だから(次から選ぶ~アルバイトやパート、正規職員、その他) | |
| 14. 希望する業種だから(業種_____) | |
| 15. その他(_____) | → Q8・Q9へ |

Q7. 現在働いているが、今後仕事を辞める予定がある理由についてお聞きます。(〇は3つまで)

- A7.
- | | | |
|---|--------------------------|----------------|
| 1. 健康、体力面で不安 | 2. 結婚のため | 3. 出産のため |
| 4. 子育てに専念したい | 5. 配偶者(夫)が望まない | 6. 親が望まない |
| 7. 経済的理由がなくなったため | 8. 家族の介護や看護 | 9. 人間関係がわずらわしい |
| 10. 家族の転勤のため | 11. 賃金に不満がある | 12. 仕事内容に不満がある |
| 13. 子どもを預けることができないため | 14. 通勤手当や送迎など交通条件がよくないため | |
| 15. 賃金などさらに条件のよい会社への転職、転業のため | | |
| 16. 勤務先の都合(雇い止め、退職を勧められたなど) | | |
| 17. 勤務時間や時間帯に不満(勤務時間_____時間、時間帯_____から_____時まで) | | |
| 18. その他(_____) | | → Q8・Q9へ |

Q8. 同居のお子様がいいらっしゃる方にお聞きます。お子様は何人いらっしゃいますか。

また、お子様の学年等(未就児は年齢)を全てご記入ください。

A8.

	記入例	1人目	2人目	3人目	4人目	5人目
人	社会人、小3、 年中、3歳など					

Q9. 配偶者(夫)がいいらっしゃる方にお聞きます。

配偶者(夫)の就労状況はどのようになっていますか?(〇はそれぞれ1つずつ)

※帰宅時間は、直近1年間の平均でお答えください。

- A9.
- I 就労状況 1. 会社員 2. 公務員 3. 自営業 4. その他(_____)
- II 勤務形態 1. 日勤のみ 2. 夜勤のみ 3. 交代勤務 4. フレックスタイム制
5. その他(_____)
- III 帰宅時間(24時間表記で記入してください。例:夜7時 ⇒ 19時)
(日勤の場合) ⇒ 平均_____時頃 (夜勤の場合) ⇒ 平均_____時頃
- IV 休日 (あてはまるもの全てに〇印をつけてください。隔週の場合なども、〇をつけてください)
月・火・水・木・金・土・日・祝日・決まっていない・その他(_____)

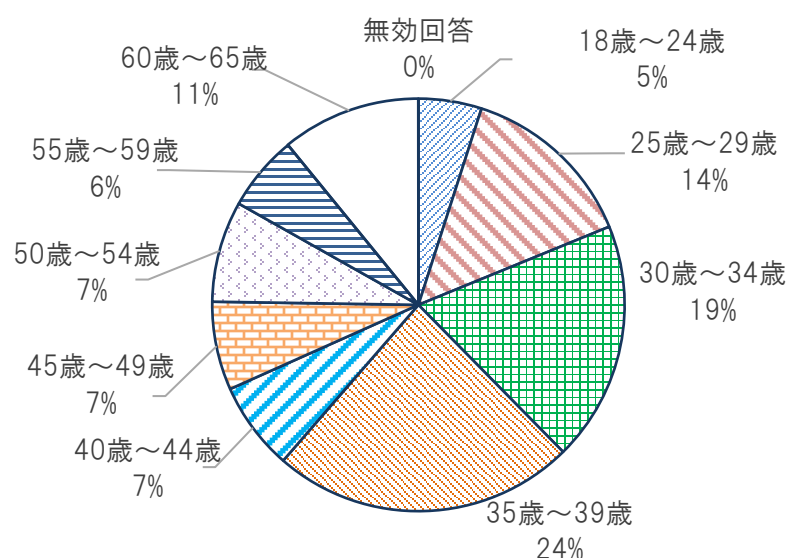
以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れて切手を貼らずに2月19日(金)までに投函願います。

2. 調査結果の分析

2.1 回答者の属性について

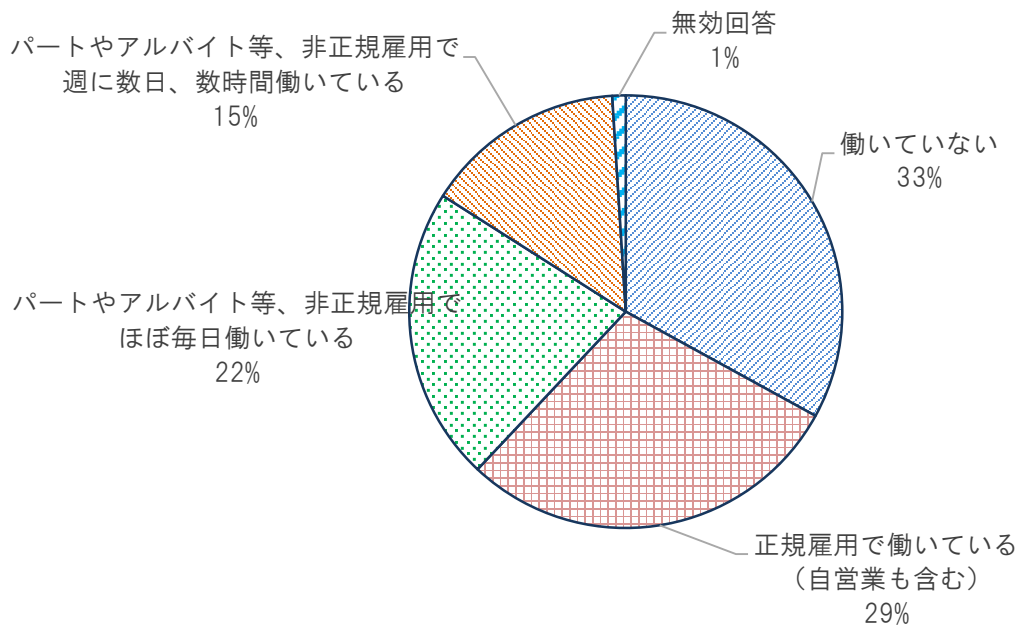
(1) Q1. 年齢

- 回答者の年齢は、「35～39歳」が24%と最も多く、次いで、「30～34歳」が19%、「25～29歳」が14%であった。



(2) Q2. 現在働いているか、及び働いている場合の勤務形態

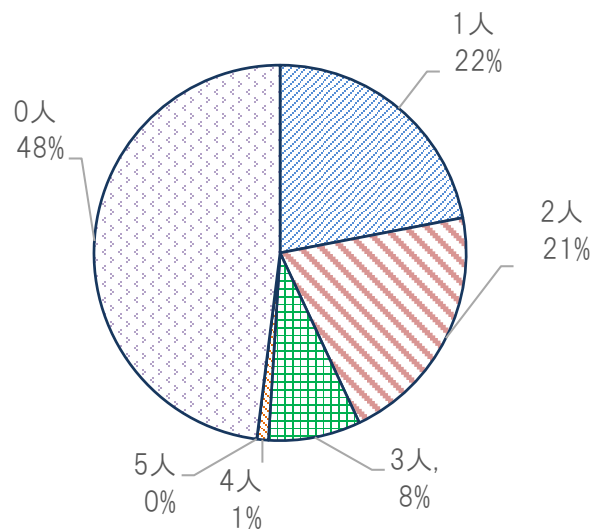
- 「働いていない」が最も多く、33%であった。
- 次いで、「正規雇用で働いている（自営業も含む）」が29%、「パートやアルバイト等、非正規雇用でほぼ毎日働いている」が22%、「パートやアルバイト等、非正規雇用で週に数日、数時間働いている」が15%であった。
- 「パートやアルバイト等、非正規雇用でほぼ毎日働いている」方の、1日当たり平均勤務時間は、「8時間まで」が32%と最も多く、8時間未満が多かった。
- 「パートやアルバイト等、非正規雇用で週に数日、数時間働いている」方の、1週間当たり平均勤務時間は、「20時間まで」が34%と最も多かった。
- 年齢別には、30歳から44歳で「働いていない」の割合が減少し、45歳以上では増加傾向であった。



(3) Q8. 同居する子どもについて

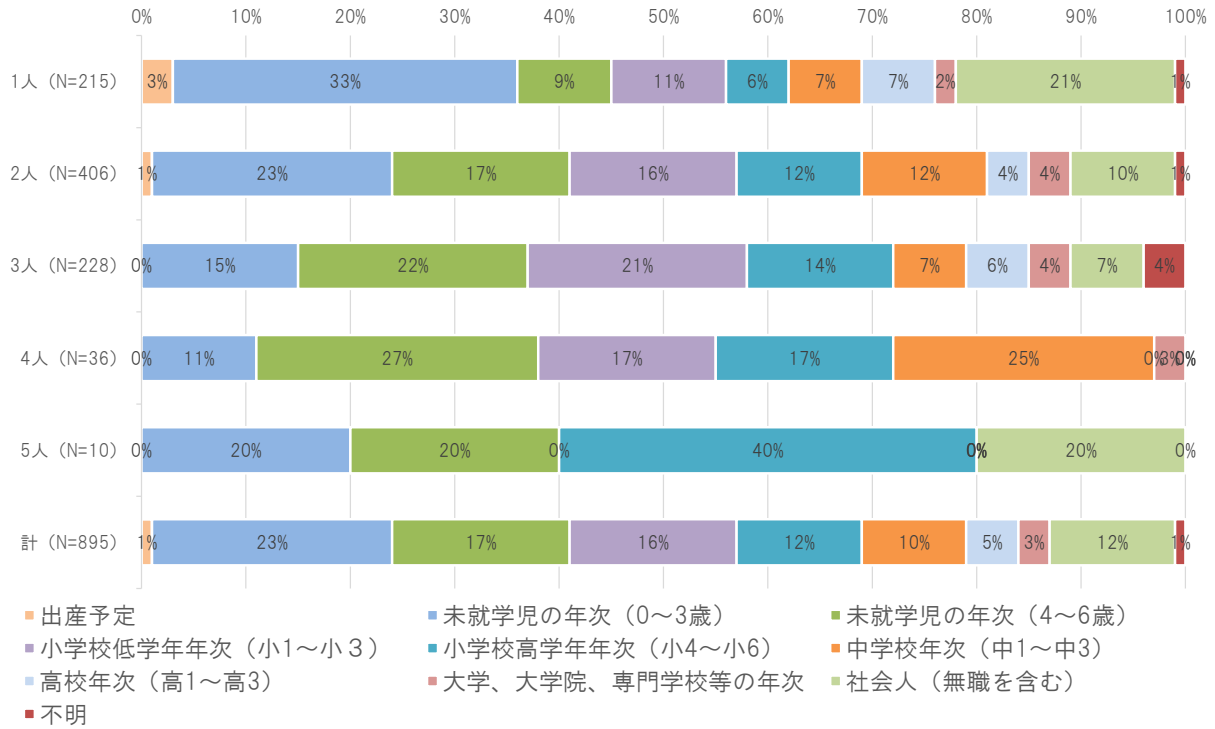
① 子どもの数

- 同居している子供の人数は、「1人」が22%と最も多く、次いで、「2人」が21%、「3人」が8%であった。
- 年齢別には、30歳から49歳では、子供の同居が60%以上であり、「35歳～39歳」で同居する子供の割合が最も多く、73%であった。
- 現在の就労状況別には、「パートやアルバイト等、非正規雇用で週に数日、数時間働いている」が1人以上、子供がいる割合が66%と最も多く、「正規雇用で働いている」が42%と最も少ない。



② 子どもの学年

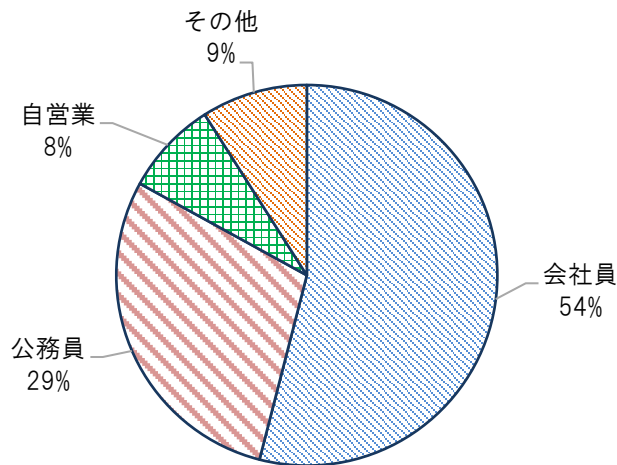
- 未就学児の年次（0～3歳）、未就学児の年次（4～6歳）の子どもを持つ回答者が多かった。
- 子供がいる回答者の一番下の子どもの学年は、「未就学児の年次（0～3歳）」が33%と最も多く、次いで、「未就学児の年次（4～6歳）」が15%、「小学校低学年年次（小1～小3）」が14%であった。
- 現在の就労状況別には、「働いていない」「正規雇用で働いている」では未就学児の年次（0～3歳）の割合が48%、38%と最も多かった。



(4) Q9. 配偶者の就労状況について

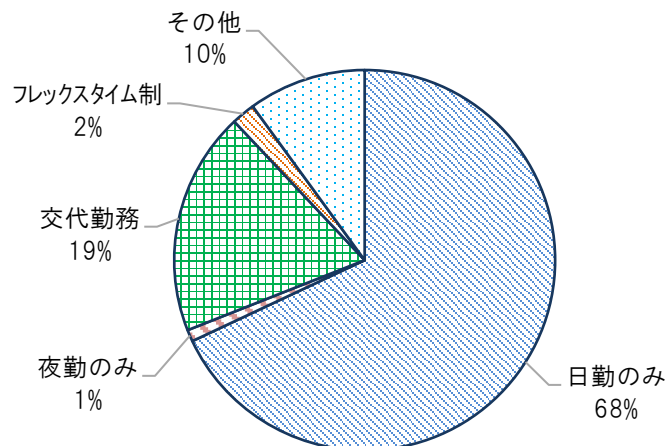
① Q9-I. 配偶者（夫）の就労状況について

- 「会社員」が54%と最も多く、次いで、「公務員」が29%であった。
- 年齢別には、「会社員」は39歳から年齢が上がるとともに割合が減少し、「公務員」は49歳から減少の割合が大きかった。
- 現在の就労状況別には、「正規雇用で働いている」は、自営業が17%と他の就労状況の約2倍以上であった。



② Q9-II. 配偶者（夫）の勤務形態について

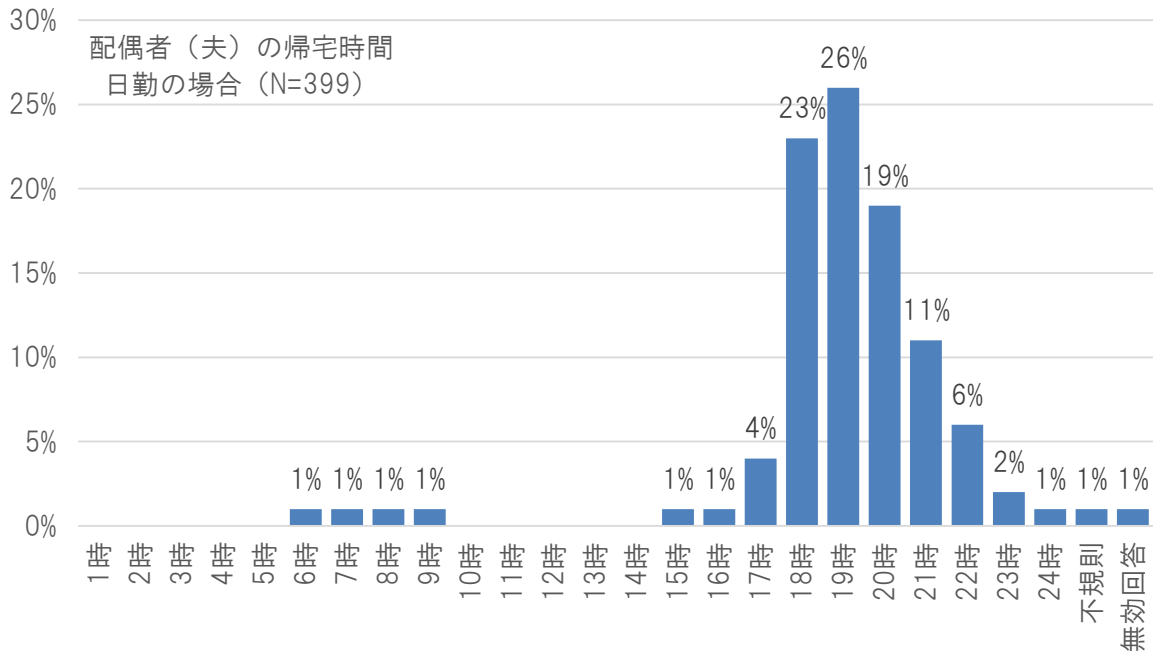
- 「日勤のみ」が68%と最も多く、次いで、「交代勤務」が19%であった。
- 年齢別には、「日勤のみ」が全ての年代で半数以上であり、「50歳～54歳」が最も多く、83%であった。
- 現在の就労状況別には、就労状況による大きな差はみられなかった。



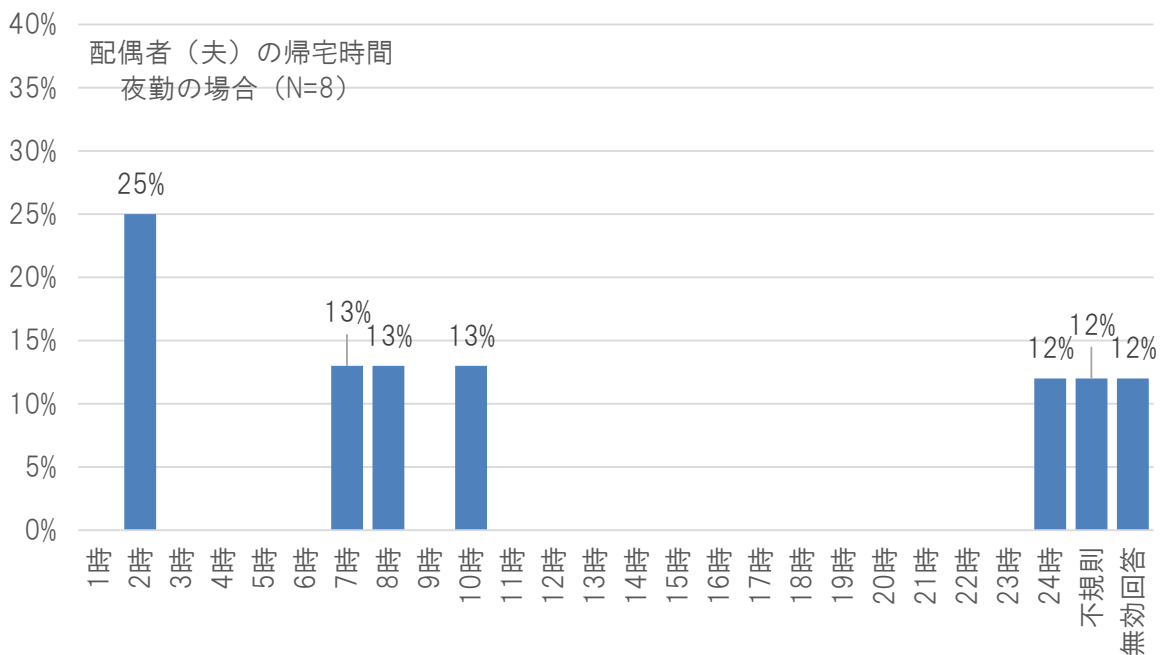
③ Q9-Ⅲ. 配偶者（夫）の帰宅時間について

- 「日勤のみ」の場合、18～20 時頃が多かった。
- 「夜勤のみ」の場合、2 時頃が多かった。
- 「交代勤務」の場合、日勤では 18～19 時頃、夜勤では 9 時頃が多かった。
- 「フレックスタイム制」の場合、18～19 時頃が多かった。

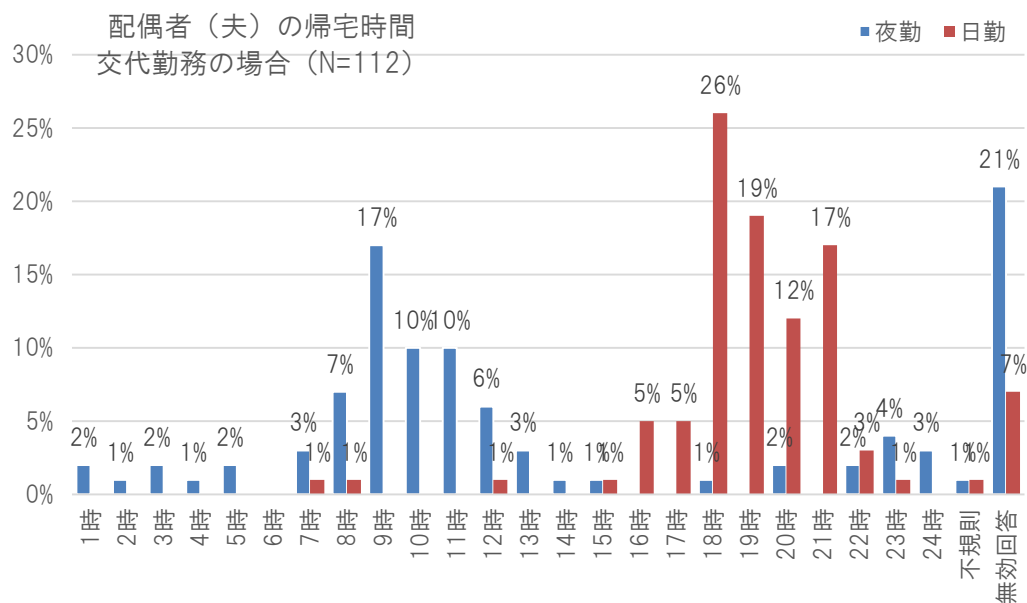
a. 配偶者（夫）が「日勤のみ」の場合



b. 配偶者（夫）が「夜勤のみ」の場合

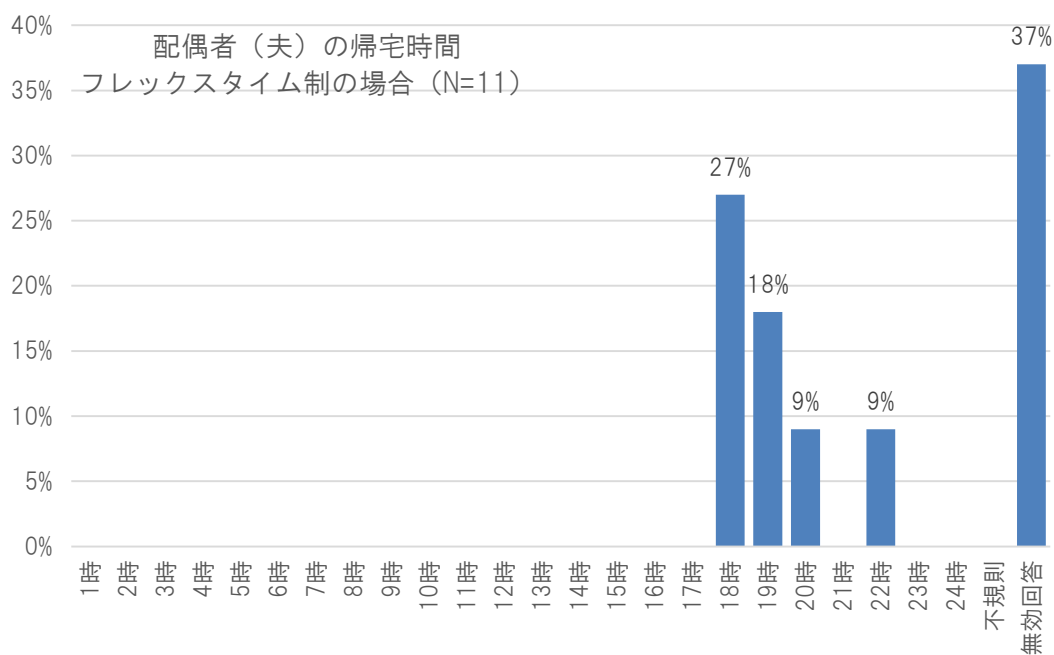


c. 配偶者（夫）が「交代勤務」の場合



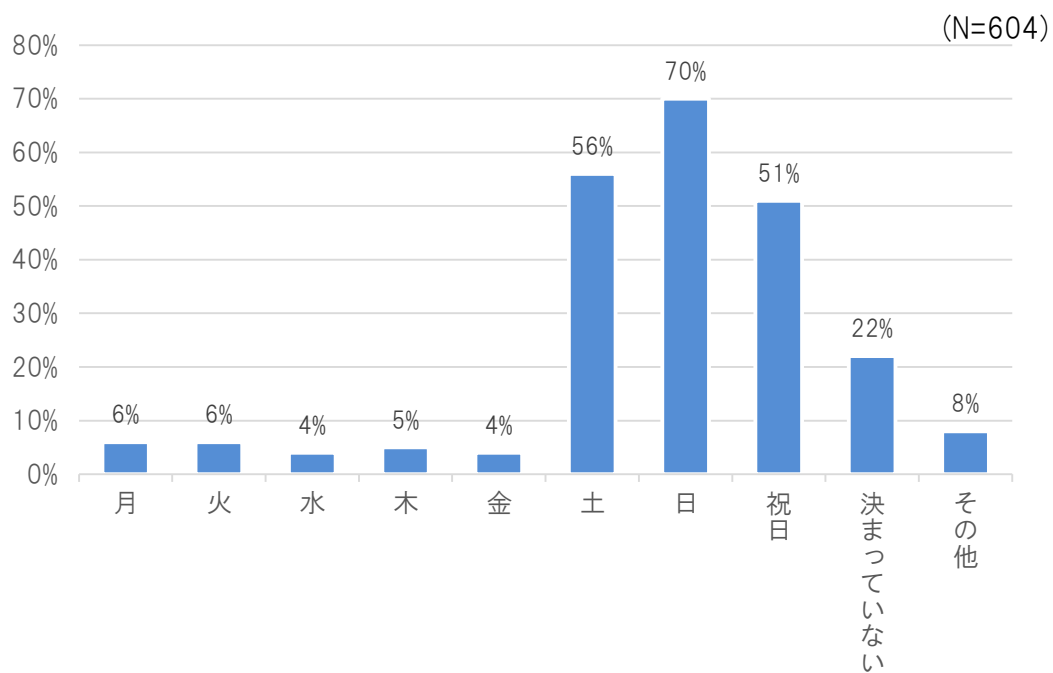
注) 交代勤務に早番/遅番を含んでいる可能性がある

d. 配偶者（夫）が「フレックス制」の場合



④ Q9-IV. 配偶者（夫）の休日について

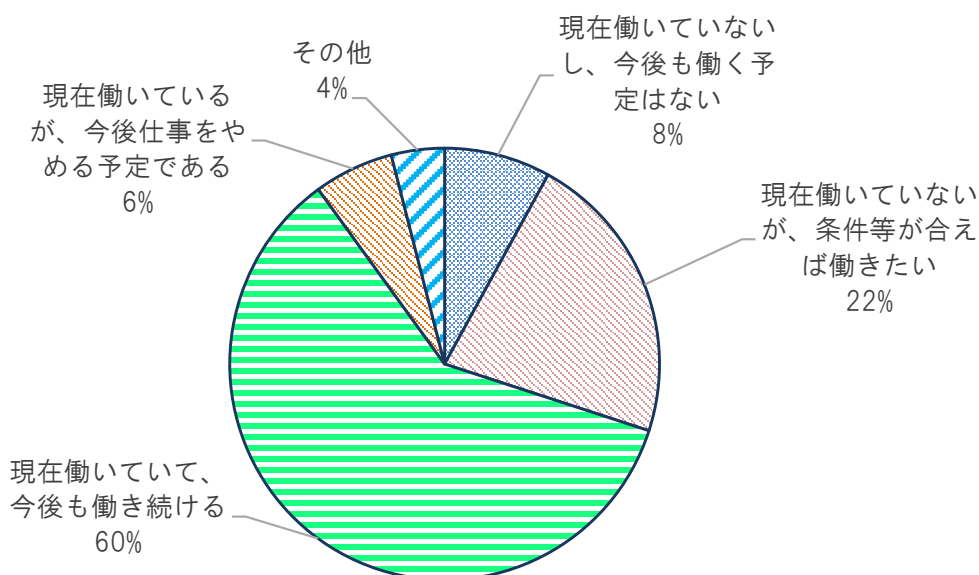
- 「日」が70%と最も多く、次いで、「土」が56%「祝日」が51%であった。



2.2 今後の就労意向について

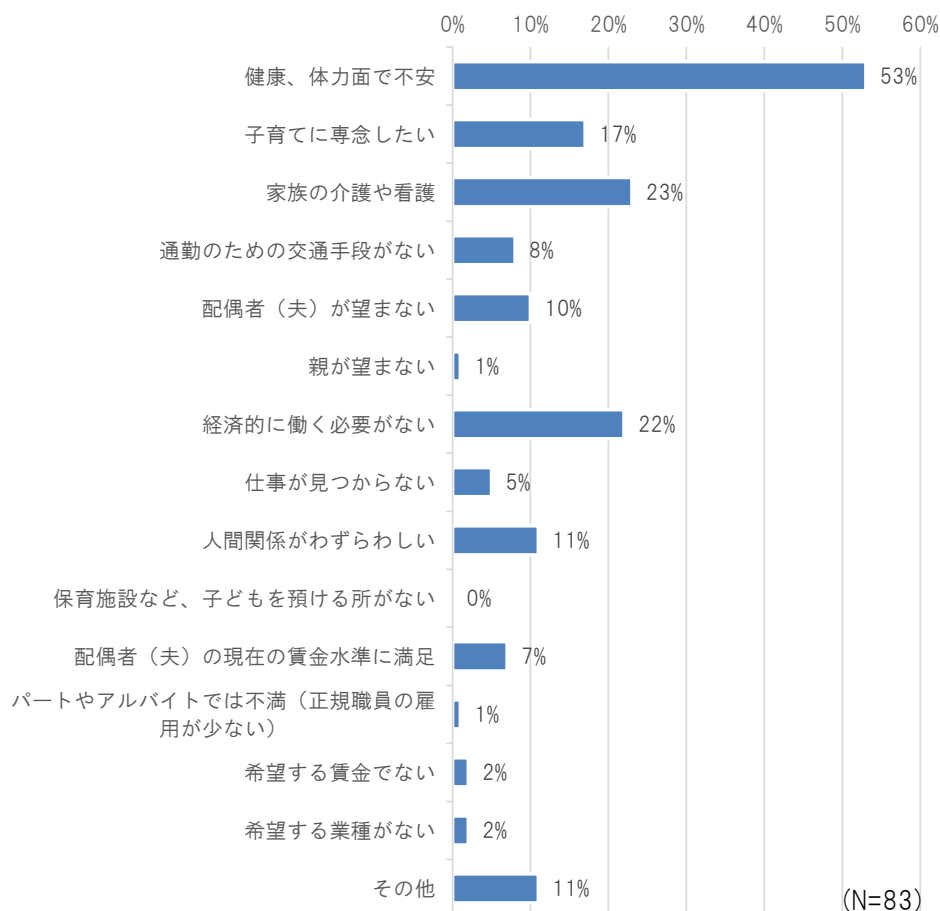
(1) Q3. 今後の就業意向

- 「現在働いていて、今後も働き続ける」が60%と最も多く、次いで、「現在働いていないが、条件等が合えば働きたい」が22%、「現在働いていないし、今後も働く予定はない」が8%、「現在働いているが、今後仕事をやめる予定である」が6%であった。
- 年齢別には、全ての年代で「現在働いていて、今後も働き続ける」の割合が最も多いが、50歳上では「現在働いていないし、今後も働く予定はない」の割合が大きく増加傾向であった。
- 子どもの数別に見ると、4人以上の回答者が少なくばらつきがあるが、人数による大きな差はみられなかった。また、一番下の子どもの学年別で見ると、未就学児の年次(0～3歳)では「現在働いていないが、条件等が合えば働きたい」が49%と最も多く、小学校高学年年次(小4～小6)では「現在働いていて、今後も働き続ける」が83%と最も多かった。
- 配偶者(夫)の就労状況別に見ると、自営業では「現在働いていて、今後も働き続ける」が76%と最も多かった。
- 配偶者(夫)の勤務形態別に見ると、日勤のみ、フレックスタイム制は回答者数が少なくばらつきがあるが、就労状況による大きな差はみられなかった。



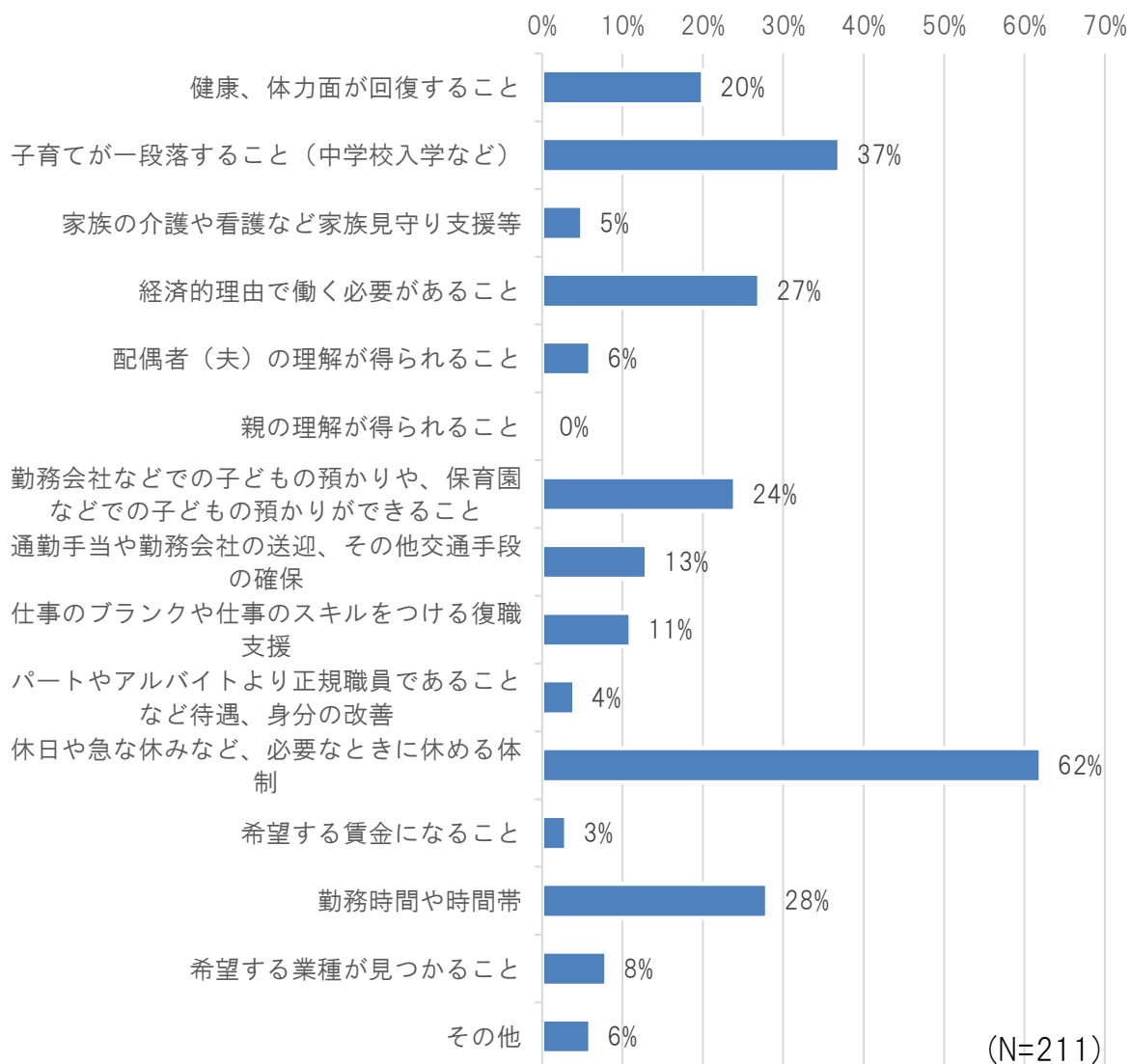
(2) Q4. 現在働いておらず、今後も働く予定のない理由

- 「健康、体力面で不安」が53%と最も多く、次いで、「家族の介護や看護」が23%、「経済的に働く必要がない」が22%、「子育てに専念したい」が17%であった。
- 「希望する賃金でない」と回答した方の、時間当たり希望賃金は800~900円であった。
- 「希望する業種がない」の回答者数は2件で、業種の回答はなかった。
- 年齢別には、18歳から54歳では、回答者数が一桁で回答にばらつきがみられるが、今後も働く予定のない理由は「健康、体力面で不安」が最も多い傾向であった。
- 子どもの数別に見ると、4人以上の回答者が少なくばらつきがあるが、人数による大きな差はみられなかった。また、一番下の子どもの学年別では、回答者数が少なく傾向はみられなかった。
- 配偶者（夫）の就労状況別に見ると、会社員では「健康、体力面で不安」が46%と最も多く、公務員では「子育てに専念したい」が45%と最も多かった。就労状況による大きな差はみられなかった。
- 配偶者（夫）の勤務形態別に見ると、日勤のみ、交代勤務では「健康、体力面で不安」が47%、50%と最も多かった。



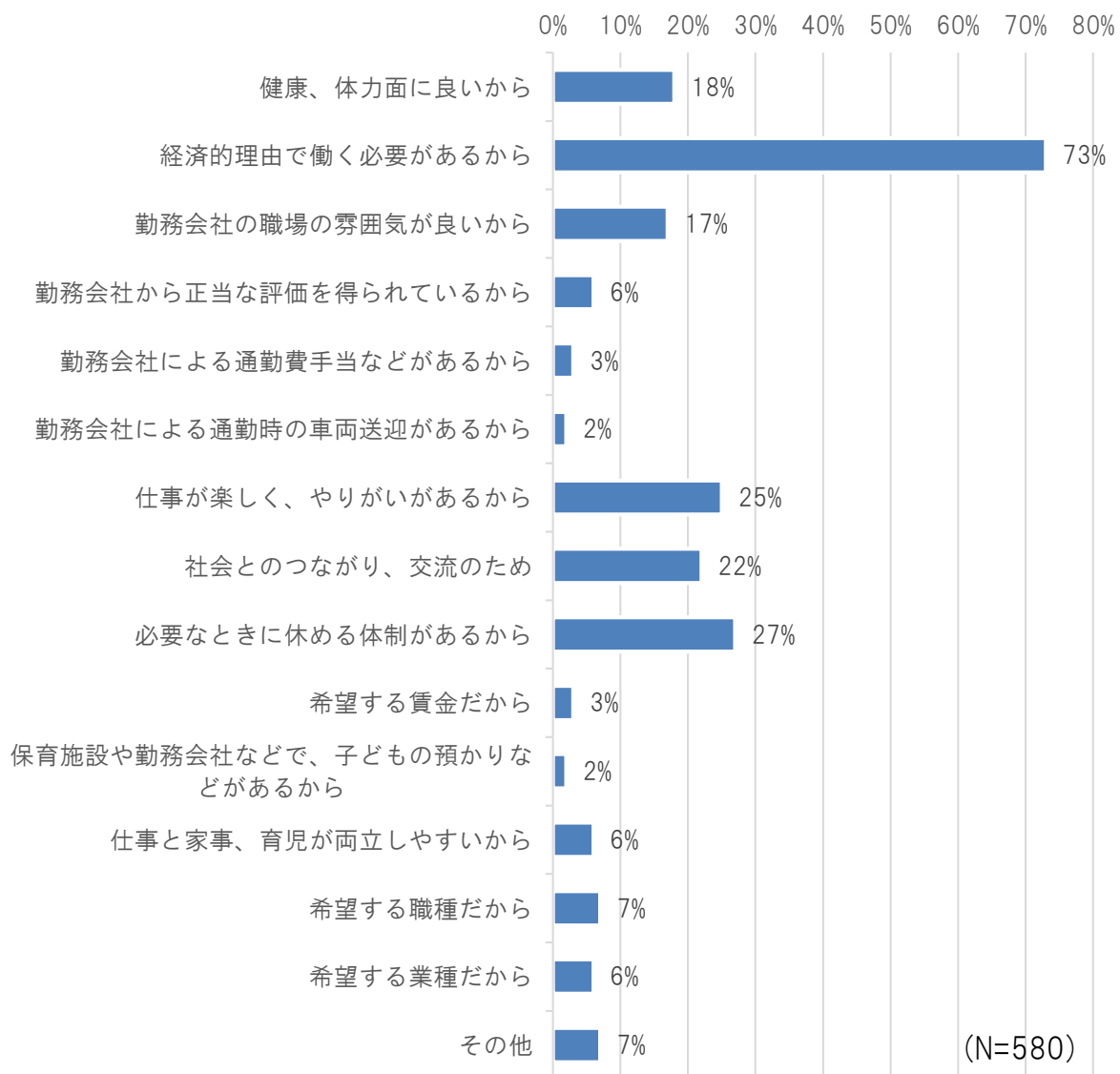
(3) Q5. 現在働いていない方が、今後働くための条件や理由

- 「休日や急な休みなど、必要なときに休める体制」が62%と最も多く、次いで、「子育てが一段落すること（中学校入学など）」が37%、「勤務時間や時間帯」が28%、「経済的理由で働く必要があること」が27%、「勤務会社などでの子どもの預かりや、保育園などでの子どもの預かりができること」が24%、「健康、体力面が回復すること」が20%であった。
- 「希望する賃金になること」と回答した方の、時間当たり希望賃金は800～1,000円であった。
- 「勤務時間や時間帯」と回答した方の、平均希望勤務時間は5時間まで、平均希望勤務時間帯は9時～14時であった。
- 「希望する業種が見つかること」と回答した方のほとんどが、職種の回答であったが、職種の分類で見ると事務系が多かった。
- 年齢別には、「休日や急な休みなど、必要なときに休める体制」が全ての年代で最も多かった。
- また、25歳から44歳では「子育てが一段落すること（中学校入学など）」「勤務会社などでの子どもの預かりや、保育園などでの子どもの預かりができること」の割合が多く、50歳から65歳では、「家族の介護や看護など家族見守り支援等」の割合が多かった。
- 子どもの数別に見ると、人数による大きな差はみられなかった。また、一番下の子どもの学年別で見ると、出産予定から小学校高学年年次（小4～小6）までは「子育てが一段落すること（中学校入学など）」が半数前後と多く、出産予定では「勤務会社などでの子どもの預かりや、保育園などでの子どもの預かりができること」が回答者数は少ないが80%と最も多かった。
- 配偶者（夫）の就労状況別に見ると、全ての就労状況で「休日や急な休みなど、必要なときに休める体制」の割合が6割以上と最も多かった。
- 配偶者（夫）の勤務形態別に見ると、夜勤のみの回答はなく、それ以外では「休日や急な休みなど、必要なときに休める体制」が6割以上と最も多かった。



(4) Q6. 現在働いている方が、今後も働き続ける理由

- 「経済的理由で働く必要があるから」が73%と最も多く、次いで、「必要なときに休める体制があるから」が27%、「仕事が楽しく、やりがいがあるから」が25%、「社会とのつながり、交流のため」が22%であった。
- 「希望する賃金だから」と回答した方の、時間当たり賃金は800～2,500円であった。
- 「仕事と家事、育児が両立しやすいから」と回答した方のほとんどが、職種の回答であったが、業種別に分類するとサービス業が多かった。
- 「希望する職種だから」と回答した方の、職種は「正規職員」が49%、「アルバイトやパート」が43%であった。
- 「希望する業種だから」と回答した方のほとんどが、職種の回答であったが、業種別に分類すると医療系とサービス業が多かった。
- 年齢別には、「経済的理由で働く必要があるから」が全ての年代で最も多かった。
- また、25歳から29歳では「勤務会社の職場の雰囲気が良いから」の割合が多く、55歳から65歳では、「健康、体力面に良いから」の割合が多い傾向であった。
- 現在の就労状況別に見ると、就労状況による大きな差はみられなかった。
- 子どもの数別に見ると、人数による大きな差はみられなかった。また、一番下の子どもの学年別でも大きな差はみられなかった。
- 配偶者（夫）の就労状況別に見ると、全ての就労状況で「経済的理由で働く必要があるから」の割合が半数以上と最も多かった。
- 配偶者（夫）の勤務形態別に見ると、フレックスタイム制では「必要なときに休める体制があるから」が71%と最も多く、それ以外の勤務形態では「経済的理由で働く必要があるから」が7割前後と最も多かった。



(5) Q7. 現在働いている方が、今後仕事を辞める予定がある理由

- 「賃金などさらに条件のよい会社への転職、転業のため」が27%と最も多く、次いで、「健康、体力面で不安」が23%、「仕事内容に不満がある」が18%、「賃金に不満がある」が16%であった。
- 「勤務時間や時間帯に不満」と回答した方の、勤務時間は9時間以上が多く、勤務時間帯は9時～22時であった。
- 年齢別には、18歳から39歳では「賃金などさらに条件のよい会社への転職、転業のため」の割合が多く、50歳から65歳では、「健康、体力面で不安」の割合が多い傾向であった。
- 現在の就労状況別には、「正規雇用で働いている」は回答が分散しており、主な理由となるものがみられなかった。
- また、非正規雇用では、「賃金などさらに条件のよい会社への転職、転業のため」、「健康、体力面で不安」、「賃金に不満がある」が30%以上と多かった。
- 子どもの数別に見ると、回答者が少なくばらつきがあるが、人数による大きな差はみられなかった。また、一番下の子どもの学年別では、回答者数が少なく、回答にばらつきがあり傾向がみられなかった。
- 配偶者（夫）の就労状況別に見ると、全ての就労状況で回答者数が少なく、回答にばらつきがあり傾向がみられなかった。
- 配偶者（夫）の勤務形態別に見ると、全ての勤務形態で回答者数が少なく、回答にばらつきがあり傾向がみられなかった。

